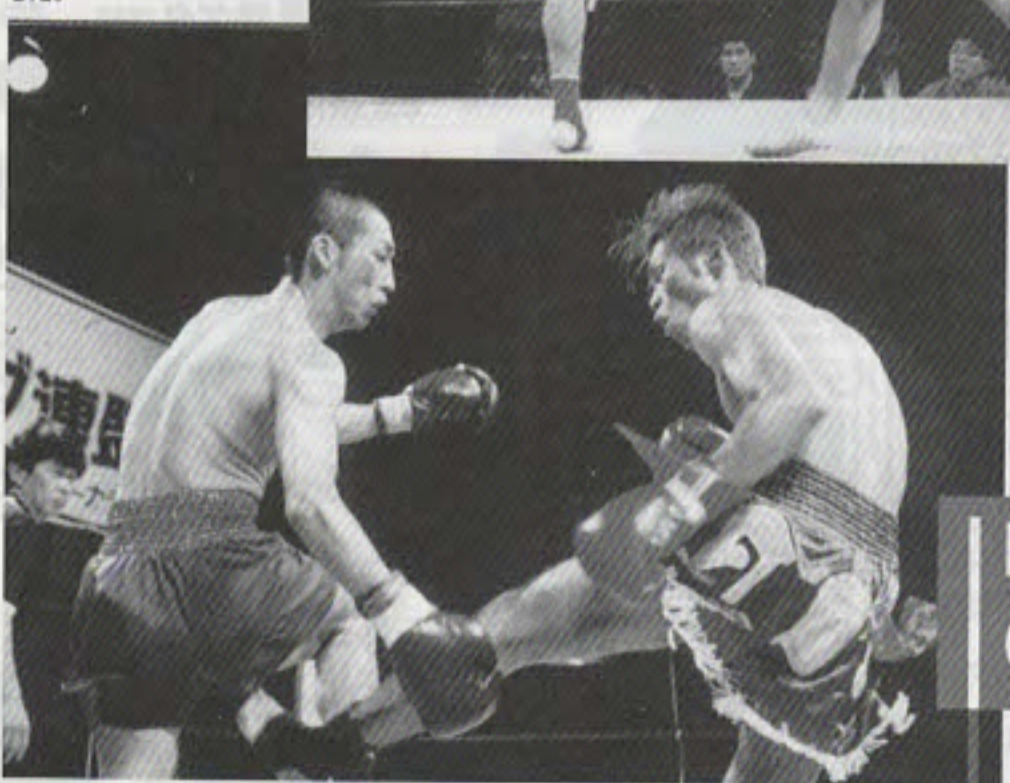


▶元MAライト級王者・加藤督明(以前はスネーク加藤と名乗っていた)が徐々に東京のリングに登場。相手は大ベテランの船木鷹虎(なんと40歳!)。加藤の右ミドルで左腕を骨折した船木は2R、ヒジで左目尻をカットされ一方的なTKO負け。



▼ヒジで笹羅の鼻を骨折させた、木村。判定勝利を収め、井上哲との対戦をアピールした。



井上が魅せたベテランの妙味!

MAキックボクシング連盟 ODYSSEY-3

日時●2001年9月15日 場所●東京・北沢タウンホール
主催●MAキックボクシング連盟

「井上哲×荻野兼則」

ライト級王者井上が、1クラス上の成長株荻野に胸を貸した。

両者、積極的な打ち合いを見せた1R。井上はストリートやアッパーなど、多彩なパンチで荻野を攻め、荻野も受けて立った。

2R入っても、ミドル、ローの蹴り合いは互角、接近戦でのヒザも互角。しかし、隙を突いてヒジを狙っていくなど、巧みではやはり井上が一歩リードといった激しい展開だ。

ところが、3Rになると、少々試合の様子が変わり始めた。井上はプレッシャーをかけて前には出るが、パンチが大振りになり、荻野を捉え切れなくなる。井上は、荻野の蹴り足を取ってタイナーからのパンチ、ヒジが多くなるが、荻野はそれでも怯まない。4、5Rは、荻野がパンチで出るところを、井上が組みとめてヒジ、ヒザの接近戦に終始した。

▶復帰戦のマグナム酒井は、井上手本と対戦。2RKO勝利を収めた。



▲MAとSBの交流戦となったホセインVsランボ。ホセインがSBの意地を見て判定勝利。

しかし、この接近戦でも、井上はこれまで余り使わなかったヒザを数多く繰り出すなど、新たな一面を見せて上手さを見せる。荻野も負けじとヒザを出す、やはり全般を通じて試合をリードした井上には及ばず、判定は僅差で井上が勝利した。

「木村允×笹羅崇裕」

両者とも、1Rからローとパンチで積極的に前に出るが、木村はそんな中にもハイ、ミドルキック、ボディブローなどを織り交せて、攻めに幅のあるところを見せる。2Rでも、さらに手数を増やしてきた木村が、ヒジで笹羅の額をカットし、大きく優位に立った。その後も、笹羅の大きくなったパンチに、ストリート、ヒジなどを合わせる余裕の展開。

しかし、笹羅もここで終わらなかつた。3Rには打ち合いに出て巻き返しを図る。受けて立った木村は、ローからミドル、パンチで激しい打ち合いを展開し、後半3Rは大乱打戦に。しかし、笹羅は粘りを見せるものの、木村のローがかなり効いており、やはり木村優位の感はない。結局、試合は判定に纏れこんだものの、3、4ポイントの差をつけて木村が勝利を飾った。

(文/寺西勉)

RESULTS

○井上 哲(山木) [判定 2-10]

荻野兼則(ビクトリー) ●

○加藤督明(フリー) [TKO 2R1分58秒]

船木鷹虎(仙台青葉) ●

○木村 允(土浦) [判定 3-10]

笹羅崇裕(仙台青葉) ●

○マグナム酒井(土道館) [KO 2R1分30秒]

井上手本高司(八街) ●

○ホセイン・キャリア(ミラード)(SB/湘南)

[判定 2-10] ランボ(東金) ●

○ハニバル鈴木(山木) [KO 1R1分15秒]

室崎剛将(真樹) ●

△飯塚英史(山木) [FDロー 0-10]

森田賢博(八街) △

○中西剛介(山木) [判定 3-10]

長井康治(ビクトリー) ●

○藤曲(谷山) [判定 3-10]

植田憲治(八街) ●

●アッシ(ビクトリー) [判定 0-2]

VIPEER米倉(仙台青葉) ○

○田部位和人(土浦) [判定 3-10]

結城英司(ビクトリー) ●